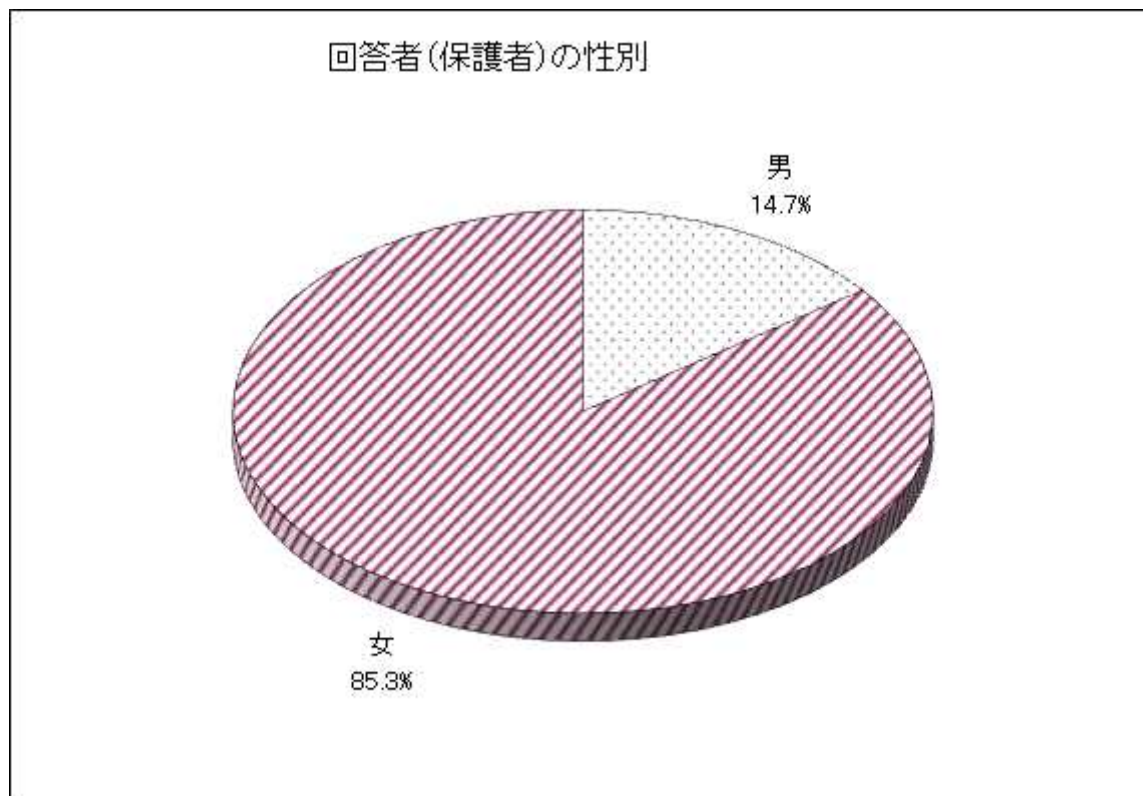


## 2. ④「中学校・保護者調査」結果

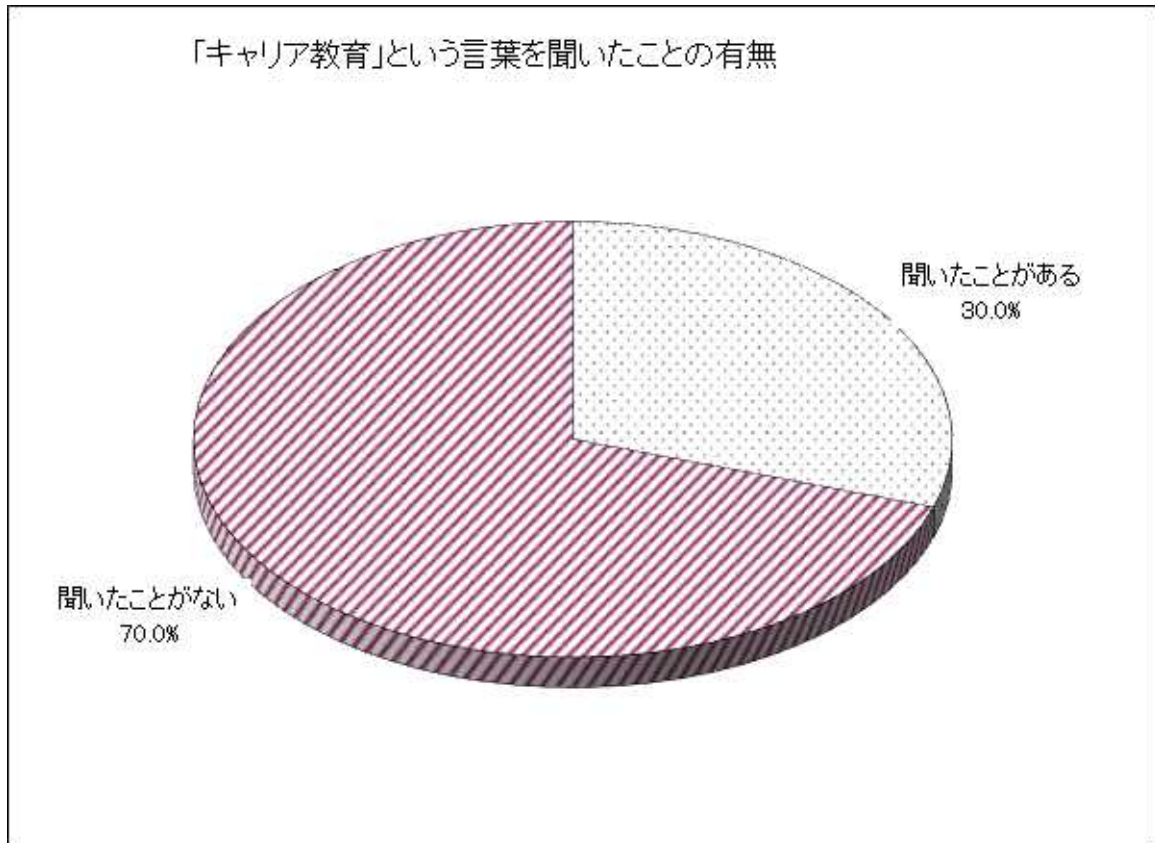
問1 あなたの性別についてお尋ねします。当てはまる番号を選んでください。



「男」の割合が14.7%、「女」の割合が85.3%であった。前回調査と比較すると、前回は「男」が20.1%、「女」が79.9%だったので、今回の方が「女」の割合が若干高くなっている。

**問 2 \*** キャリア教育についてお尋ねします。以下の設問にお答えください。

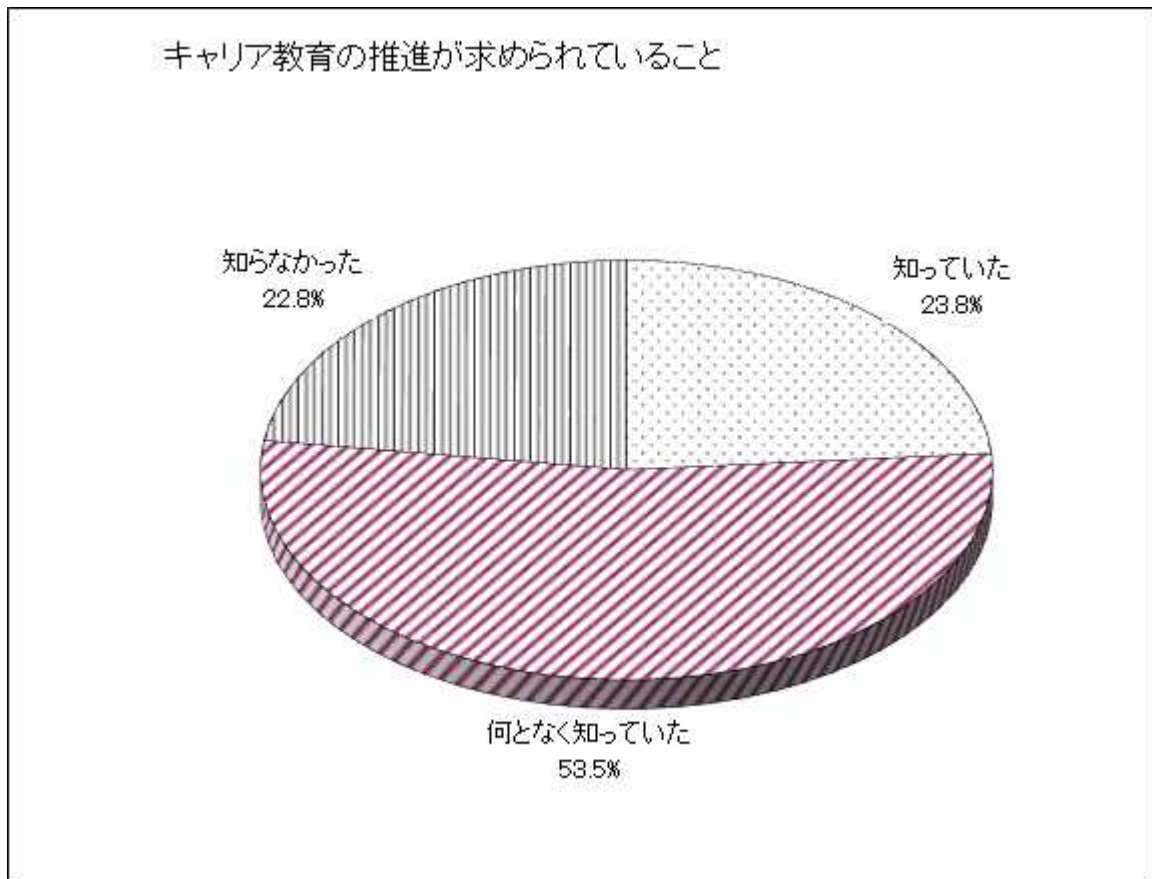
- (1) あなたは、「キャリア教育」という言葉を聞いたことがありますか。当てはまるものを選んでください。



「キャリア教育」という言葉を「聞いたことがある」の割合は30.0%、「聞いたことがない」は70.0%を占めている。三人に二人以上の保護者は「キャリア教育」という言葉を「聞いたことがない」という結果である。

(2) (1)で「1 聞いたことがある」と答えた方にお尋ねします。

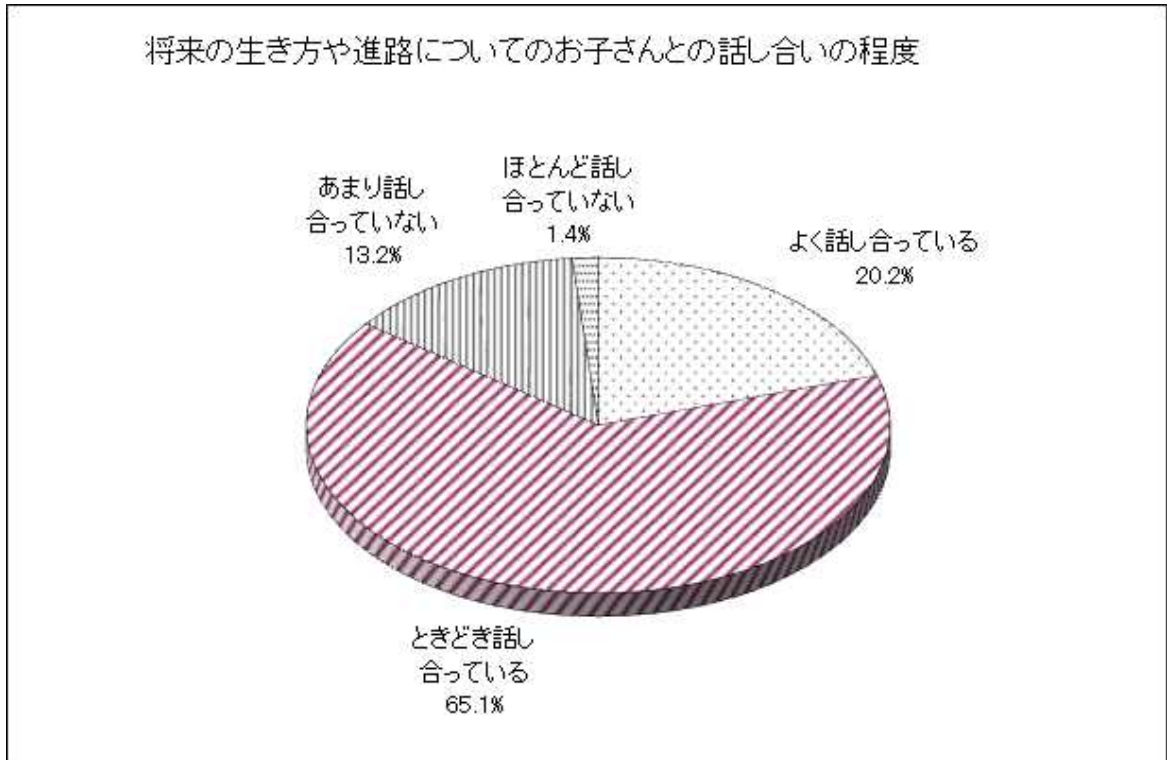
あなたは、キャリア教育の推進が求められていることについて御存じでしたか。当てはまるものを一つ選んでください。



「知っていた」の割合は 23.8%、「何となく知っていた」53.5%、「知らなかった」22.8%である。つまり、2割強の保護者が「キャリア教育の推進が求められていること」を知らないといえる。

**問3** お子さんの将来の生き方や進路に関して、お子さんと話し合っていることについてお尋ねします。

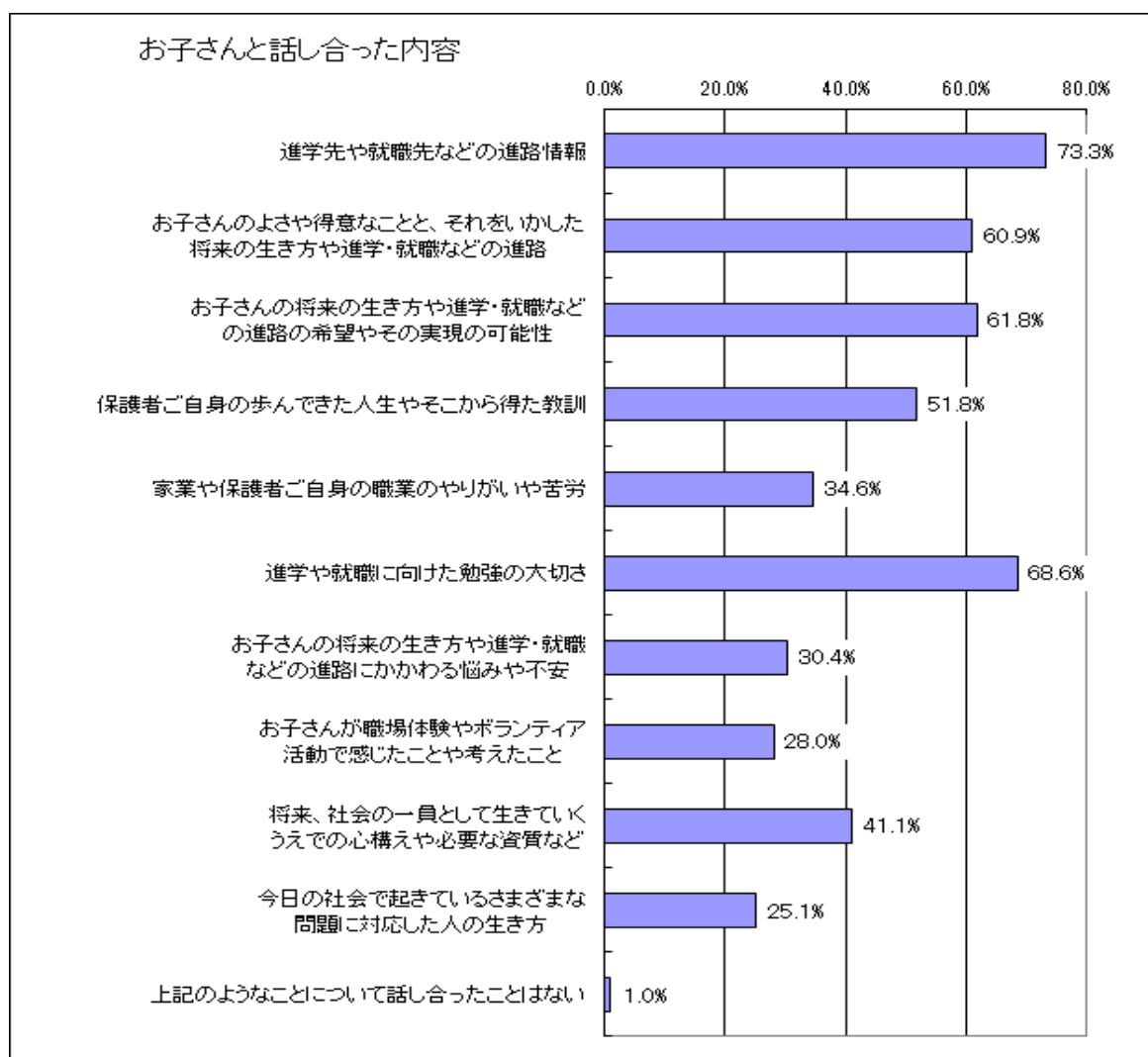
(1) 将来の生き方や進路について、お子さんとどの程度話し合っていますか。当てはまるものを一つ選んでください。



「よく話し合っている」の割合が20.2%、「ときどき話し合っている」65.1%、「あまり話し合っていない」13.2%、「ほとんど話し合っていない」1.4%となっている。

前回調査と比較すると、前回は「よく話し合ってきている」32.0%、「ときどき話し合ってきた」59.1%であり、「よく話し合っている」の割合は今回約12ポイント下がった。

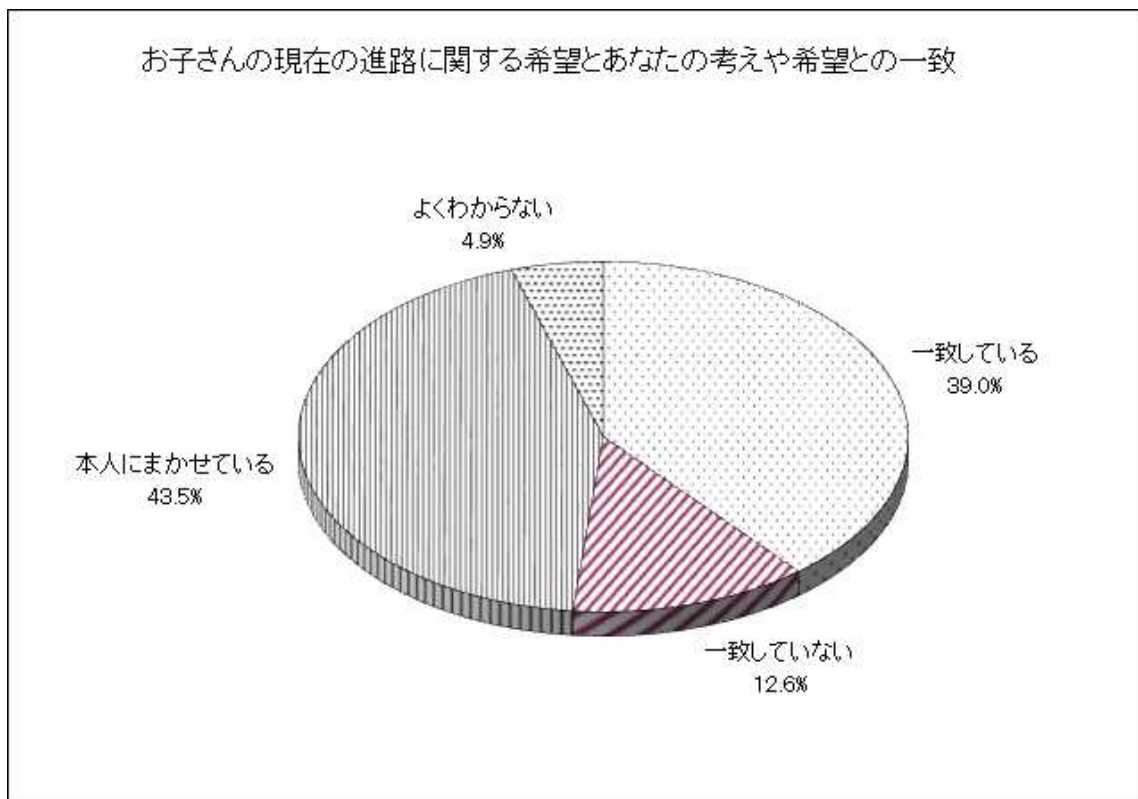
(2) あなたがお子さんと話し合った内容について、当てはまるものを全て選んでください。



最も高い割合は、「進学先や就職先などの進路情報」73.3%であり、次いで「進学や就職に向けた勉強の大切さ」68.6%、「お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路の希望やその実現の可能性」61.8%という順である。逆に割合が低いのは、「お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路に関わる悩みや不安」30.4%、「お子さんが職場体験やボランティア活動で感じたことや考えたこと」28.0%、「今日の社会で起きているさまざまな問題に対応した人の生き方」25.1%である。

前回の調査とは一部項目の文言が異なってはいるが、前回最も割合の高かったのは「お子さんの進路希望やその実現の可能性について」71.6%であり、次いで「高等学校など上級学校等の進路に関する情報について」71.3%、「お子さんの勉強に対する意欲や態度について」62.9%であった。この上位三つは今回も前回と同じである。逆に、前回割合の低かったのは、「今日の社会で起きているさまざまな問題に対応した人の生き方について」32.9%、「お子さんが職場体験やボランティア活動で感じたことや考えたことについて」24.6%、「家業や御自身の職業について」23.1%であり、最も割合の低い項目が前回と今回で異なっている。

**問4** お子さんの現在の進路に関する希望は、あなたの考えや希望と一致していますか。次の当てはまるものを一つ選んでください。

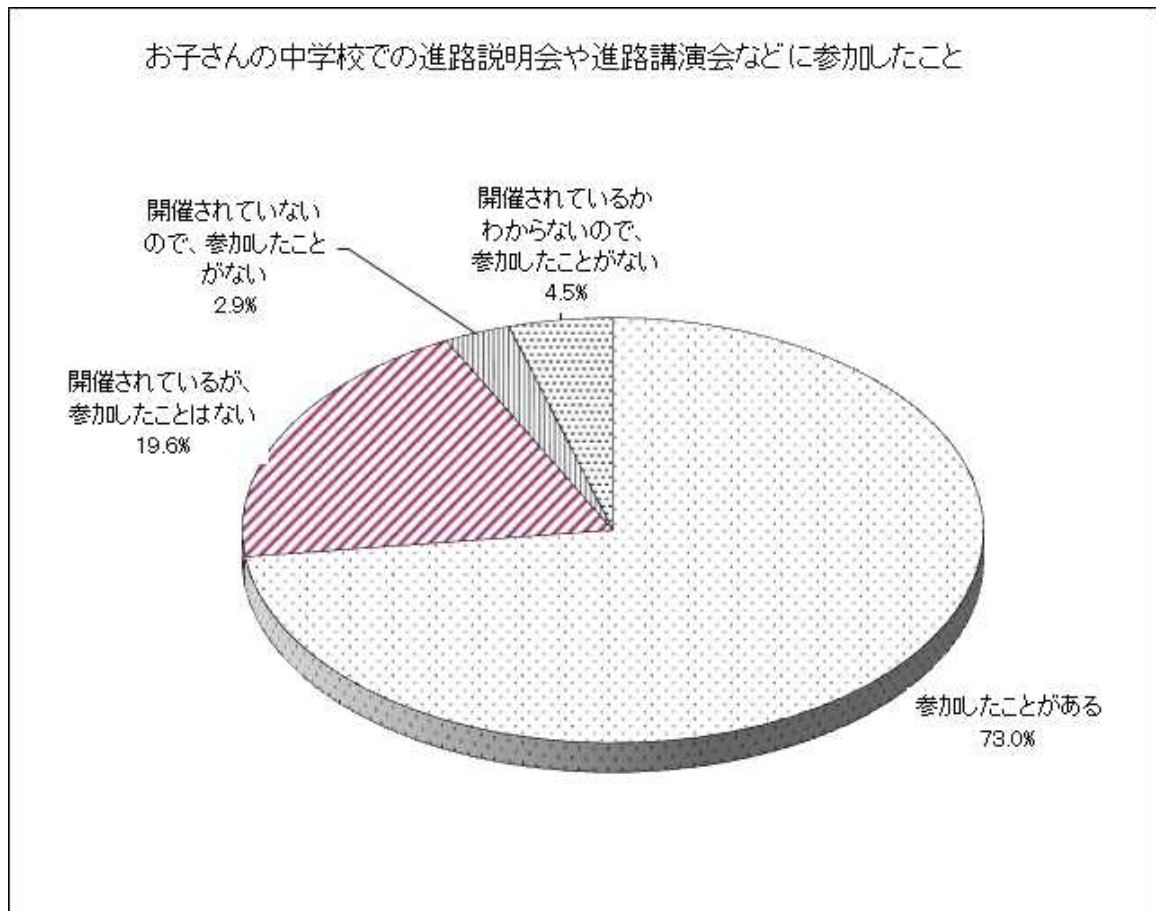


最も高い割合は「本人にまかせている」43.5%であり、次いで「一致している」39.0%、「一致していない」12.6%、「よくわからない」4.9%となっている。

前回調査と比較すると、前回最も割合が高かったのは「一致している」で51.3%、次に「本人にまかせている」で38.8%であった。今回は前回よりも「一致している」割合が下がり、「本人にまかせている」割合がやや上がった。



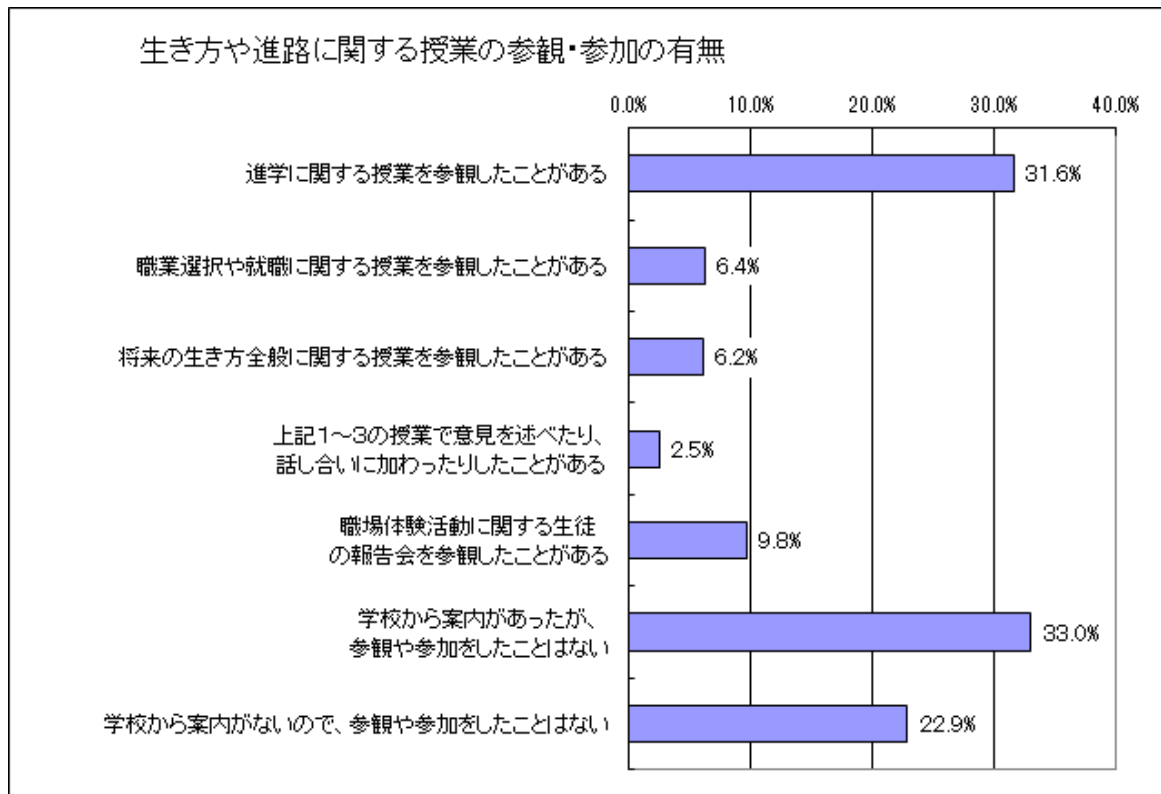
問5 あなたは、これまでお子さんの中学校での進路説明会や進路講演会などに参加したことがありますか。当てはまるものを一つ選んでください。



「参加したことがある」が73.0%と最も高い割合を占め、次いで「開催されているが、参加したことがない」19.6%、「開催されていないので、参加したことがない」4.5%となっている。

前回調査と比較すると、前回「参加したことがある」が80.5%であったので、この割合が今回7.5ポイント下がった。

**問6\*** あなたは、お子さんの中学校の生き方や進路に関する授業を参観したり、それに参加したりしたことがありますか。当てはまるものを全て選んでください。



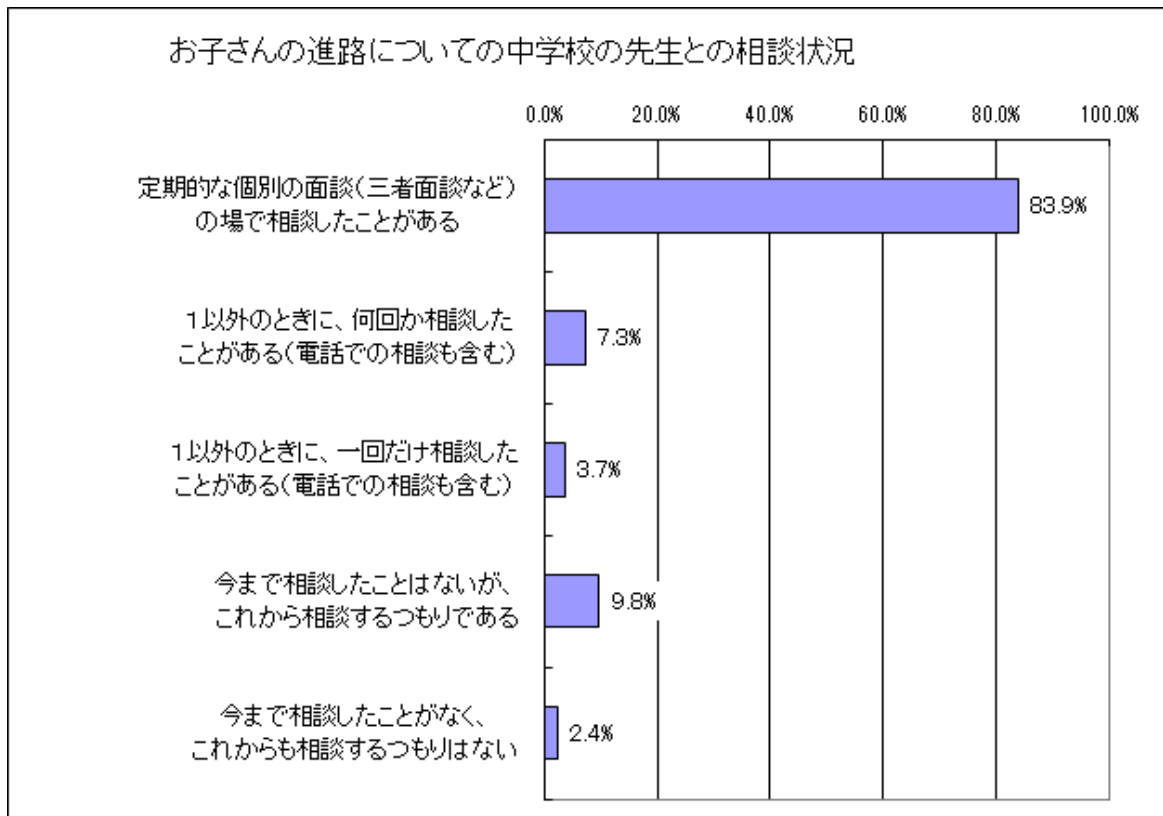
「学校から案内があったが、参観や参加をしたことはない」の割合が最も高く 33.0% である。次いで「進学に関する授業を参観したことがある」31.6%、「学校から案内がないので、参観や参加をしたことはない」22.9%となっている。

前回調査と比較すると、項目の文言が一部異なっているが、「進路に関する授業を参観したことがある」が 38.9% と最も高い割合であったので、今回はこの割合が 7.3 ポイント下がった。



**問7** お子さんの進路に関して、中学校の先生と相談したことについてお尋ねします。

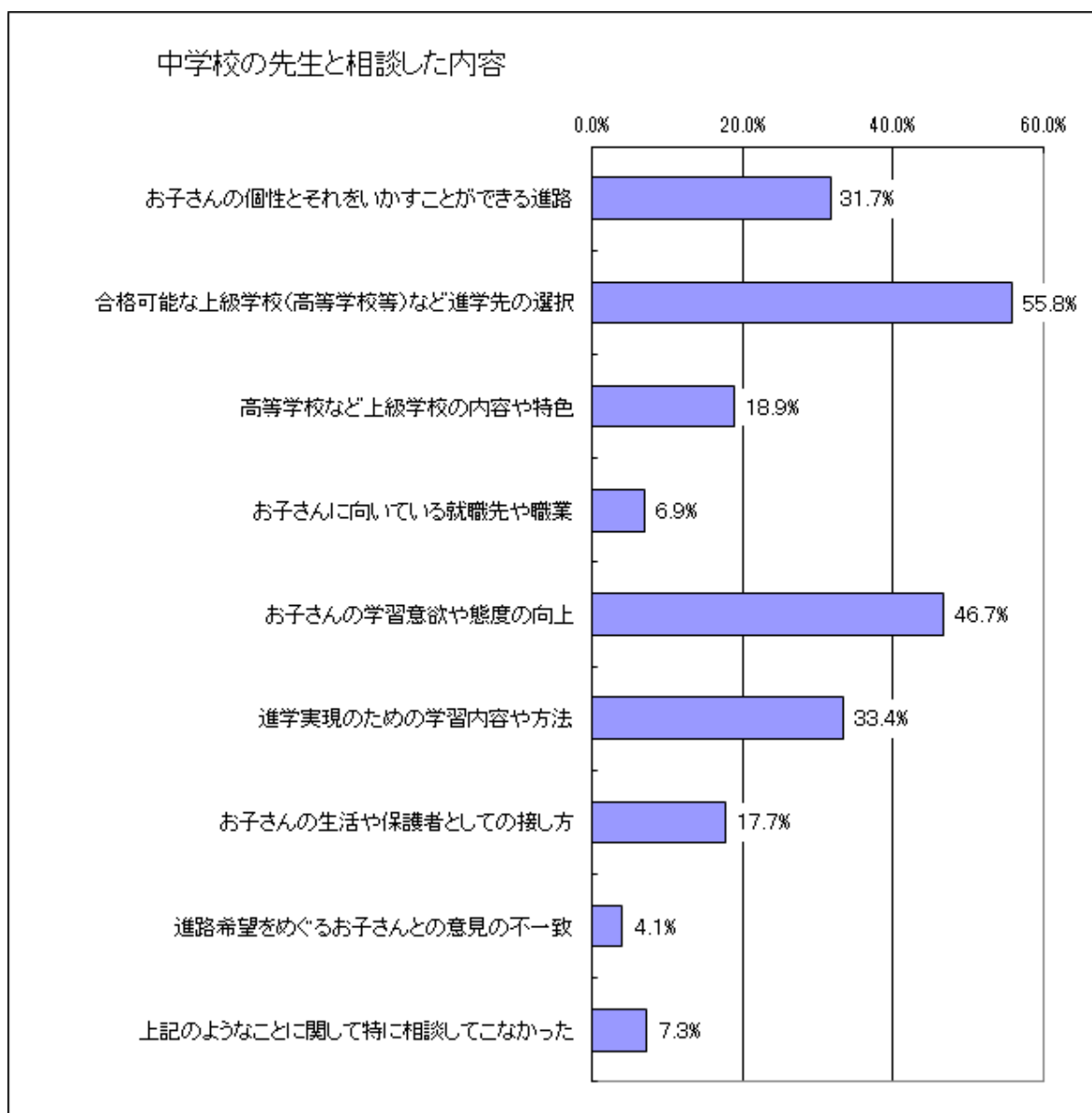
(1) お子さんの進路について、中学校の先生と相談したことがありますか。当てはまるものを全て選んでください。



最も割合が高いのは「定期的な個別の面談（三者面談など）の場で相談したことがある」で83.9%、次いで「今まで相談したことはないが、これから相談するつもりである」9.8%、「1以外のときに、何回か相談したことがある（電話での相談も含む）」7.3%となっている。

前回調査においても最も割合の高かったのは「三者面談など定期的な個別の面談の場で相談したことがある」83.2%であり、今回も同様の傾向が見られる。

(2) 中学校の先生と相談した内容について、当てはまるものを全て選んでください。

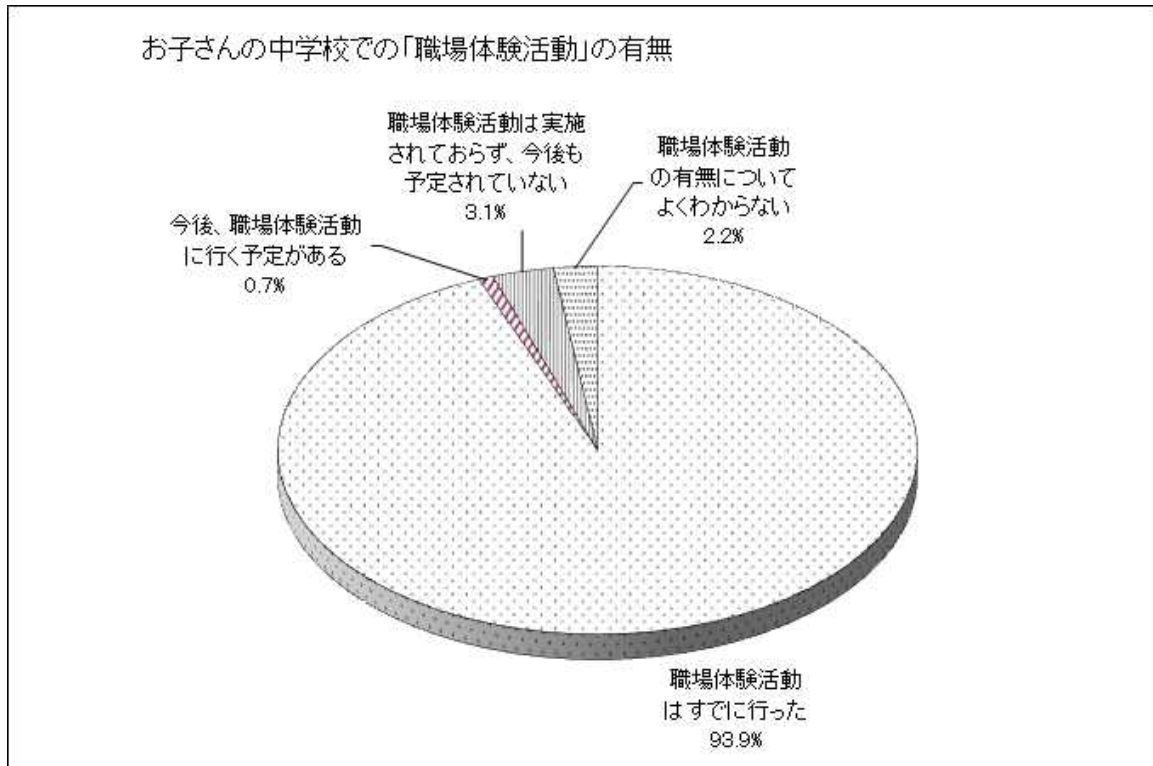


「合格可能な上級学校（高等学校等）など進学先の選択」が最も高く 55.8%、次いで「お子さんの学習意欲や態度の向上」46.7%、「進学実現のための学習内容や方法」33.4%、「お子さんの個性とそれをいかすことができる進路」31.7%となっている。

前回調査と今回とでは回答方法が異なっている。前回は最も多く相談してきたことを一つだけ選択するようになっていたので、単純に比較はできないが、今回と同様、前回も「合格可能な高等学校など進学先の選択について」の割合が最も高く 46.6%であった。次いで高かったのが「お子さんの個性とそれを活かすことができる進路について」19.3%、「お子さんの学習意欲や態度の向上について」11.2%となっていた。

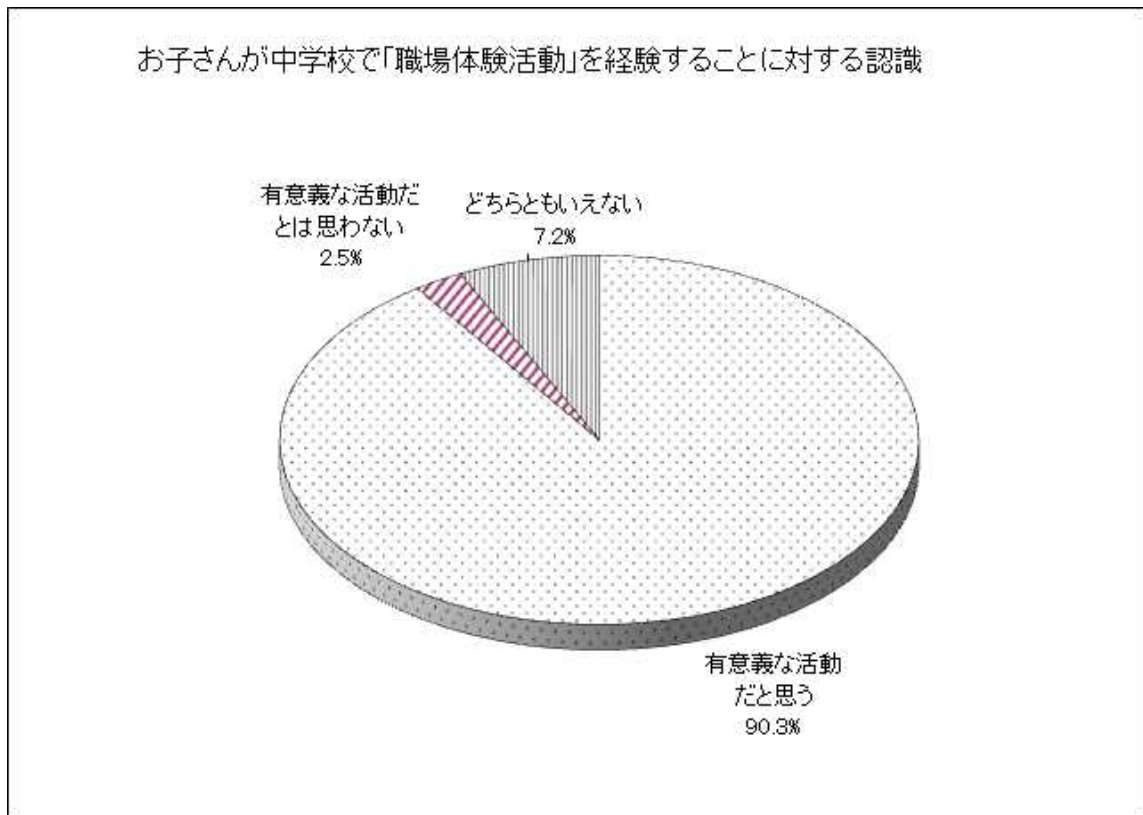
**問 8 \*** あなたのお子さんの職場体験活動についてお尋ねします。

- (1) あなたのお子さんは、中学校で「職場体験活動」に行きましたか。又は、行く予定がありますか。当てはまるものを一つ選んでください。



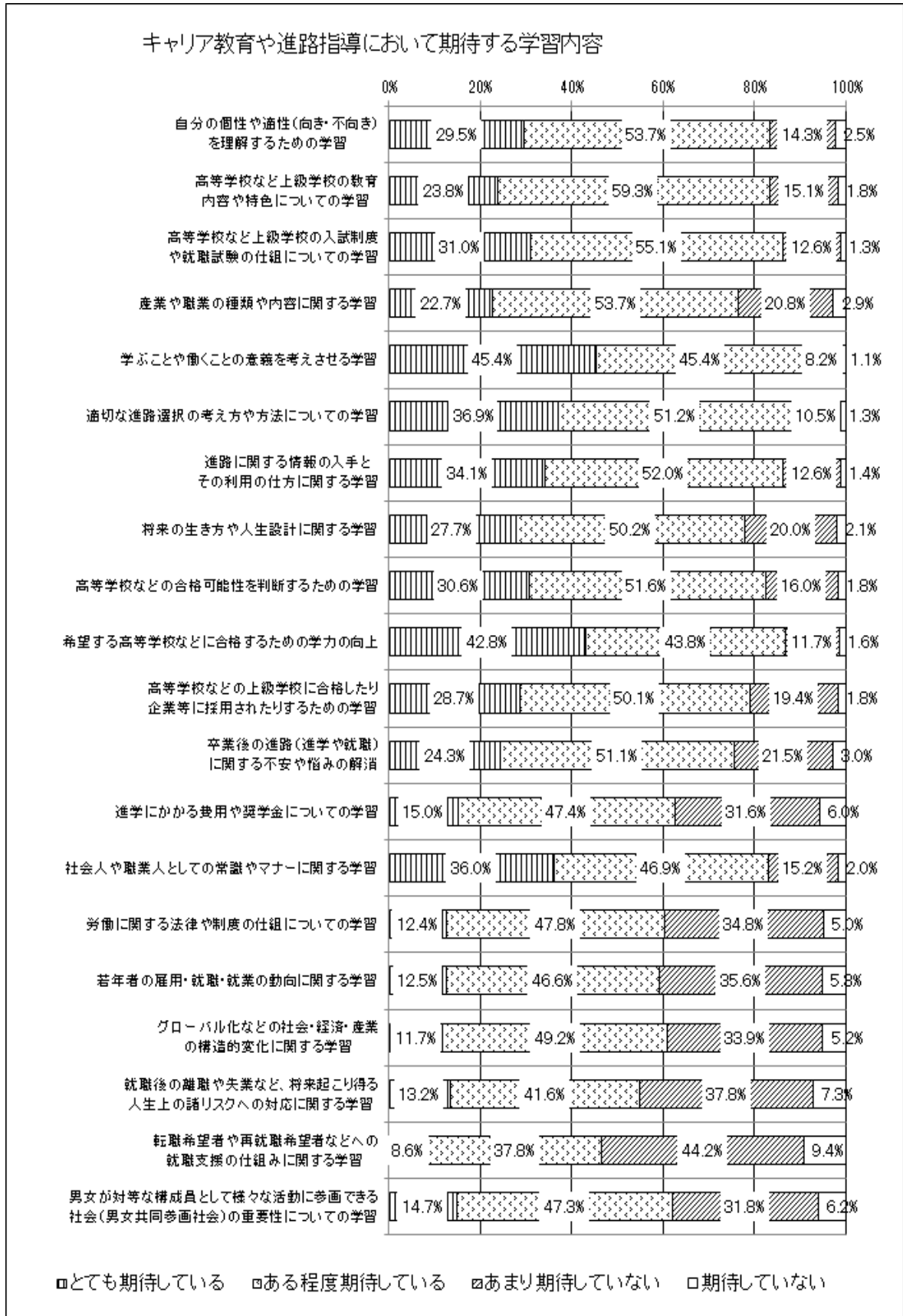
「職場体験活動はすでに行った」の割合が最も高く 93.9%を占め、次いで「職場体験活動は実施されておらず、今後も予定されていない」3.1%、「職場体験活動の有無についてよくわからない」2.2%となっている。

(2) あなたのお子さんが、中学校で「職場体験活動」を経験することについて、どう思いますか。あなたの考えに近いもの一つを選んでください。



「有意義な活動だと思ふ」の割合が最も高く 90.3%を占め、次いで「どちらともいえない」が 7.2%、「有意義な活動だとは思わない」は 2.5%であった。

問9 あなたはお子さんが通学している中学校でのキャリア教育や進路指導において、どのような学習内容を期待していますか。次の(1)～(20)のそれぞれについて、当てはまるものを1～4の中から一つずつ選んでください。



「とても期待している」割合だけについて見ると、最も高い割合は「学ぶことや働くことの意義を考えさせる学習」で45.4%、次いで「希望する高等学校などに合格するための学力の向上」42.8%、「適切な進路選択の考え方や方法についての学習」36.9%という順である。

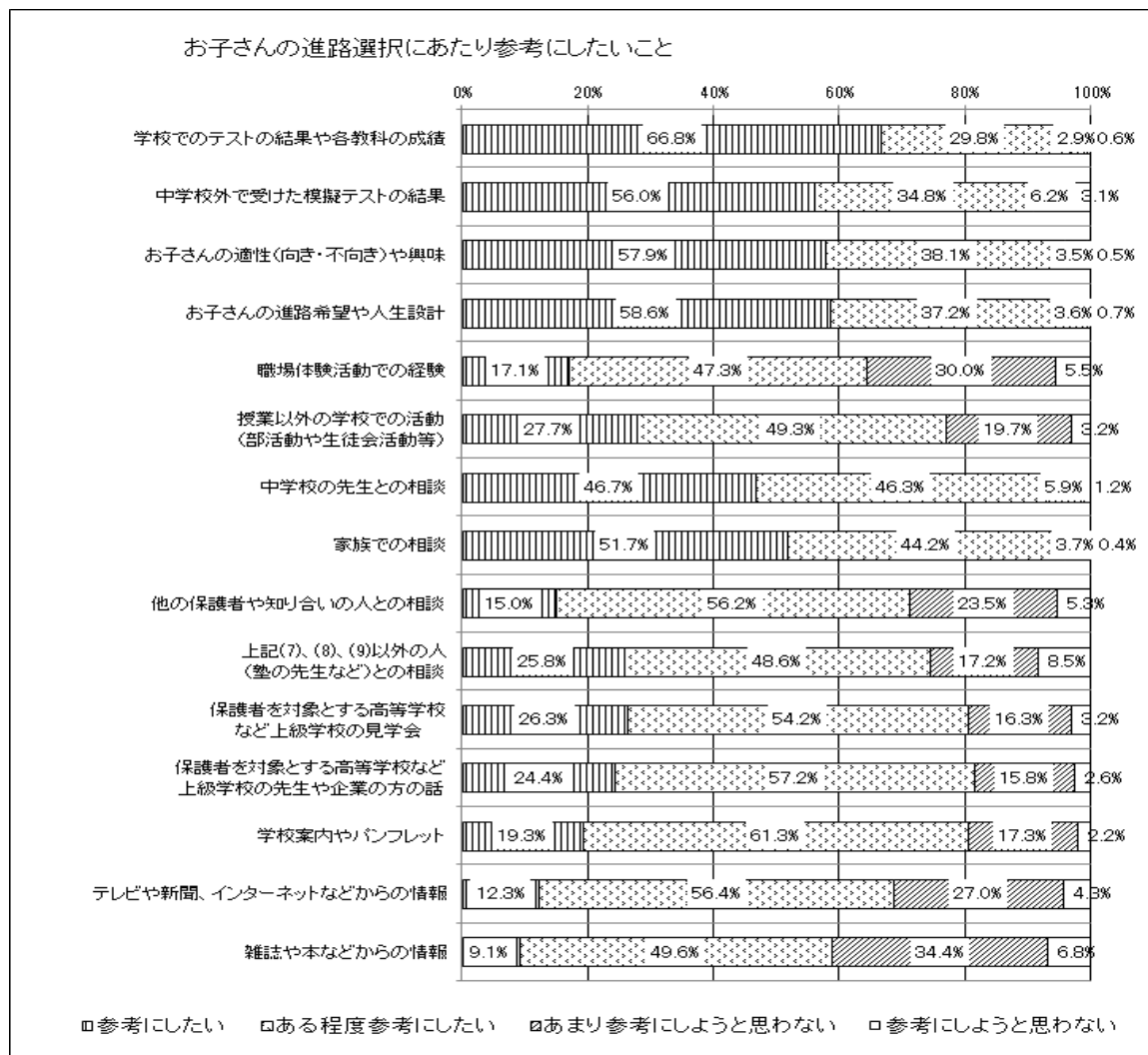
また、「とても期待している」と「ある程度期待している」を合計した割合を見ると、「学ぶことや働くことの意義を考えさせる学習」が最も高く90.8%、次いで「適切な進路選択の考え方や方法についての学習」88.1%、「希望する高等学校などに合格するための学力の向上」86.6%という順である。

逆に、「期待していない」と「余り期待していない」を合計した割合を見ると、最も高いのは、「転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みに関する学習」で53.6%、次いで「就職後の離職や失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する学習」45.1%、「若年者の雇用・就職・就業の動向に関する学習」40.9%という順である。

前回調査では今回とは回答方法が異なっており、全体の中から「期待している事柄」を「二つまで」選択するようになっていた。また項目の文言も若干異なっているため単純には比較できないが、前回も「学ぶことや働くことの意義を考えさせる学習」の割合が26.9%と最も高く、次いで「自分の個性や適性を理解するための学習」26.7%、「適切な進路選択の考え方や方法についての学習」20.0%であった。逆に、割合が低かったのは、「高等学校などの入試の制度や仕組みについての学習」10.2%、「進路に関する情報の入手とその利用の仕方に関する学習」9.3%、そして「高等学校の合格可能性の判断」9.2%であった。



**問 10** お子さんの進路の選択にあたり、どんなことを参考にしたいと思いますか。  
次の(1)～(15)のそれぞれについて、当てはまるものを1～4の中から一つずつ選んでください。

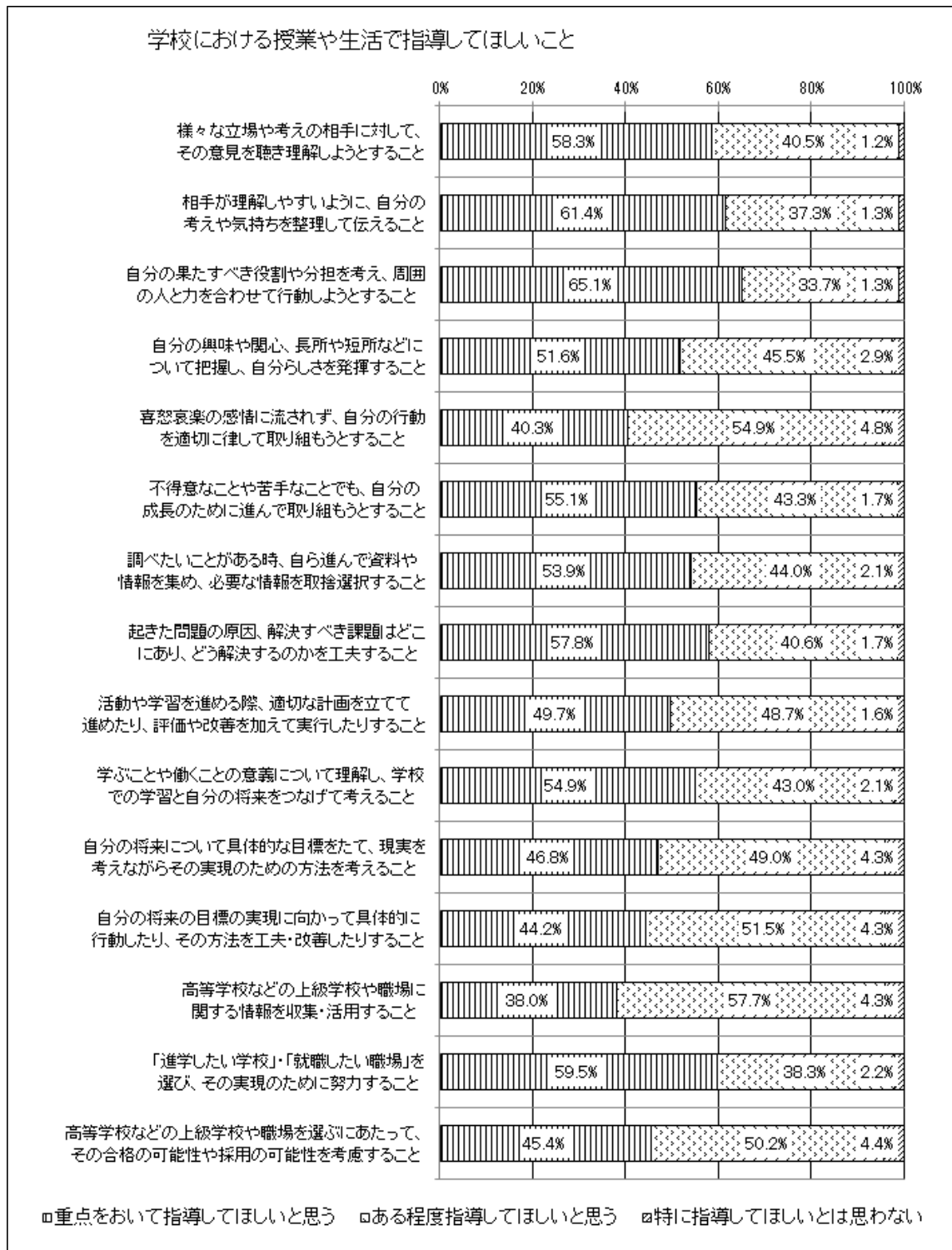


「参考をしたい」という割合だけについて見ると、「学校でのテストの結果や各教科の成績」が最も高く66.8%であり、次いで「お子さんの進路希望や人生設計」58.6%、「お子さんの適性(向き・不向き)や興味」57.9%、「中学校外で受けた模擬テストの結果」56.0%となっている。

次に、「参考をしたい」と「ある程度参考をしたい」を合計した割合を見ると、最も高いのは「学校でのテストの結果や各教科の成績」で96.6%、次いで「お子さんの適性(向き・不向き)や興味」96.0%、「家族での相談」95.9%、「お子さんの進路希望や人生設計」95.8%、「中学校の先生との相談」93.0%となっている。

前回調査では今回とは回答方法が異なっており、全体の中から特に参考をしたいことを三つまで選択するようになっていた。また項目の文言も若干異なっているため単純には比較できないが、「特に参考をしたい」割合について見ると、最も高いのは「学校でのテストの結果や各教科の成績」で53.2%、次いで「お子さんの適性や興味」46.7%、「お子さんの進路希望や人生設計」43.4%、「中学校の先生との相談」31.6%、「中学校外で受けた模擬テストの結果」27.2%であった。

問 11\* あなたのお子さんに、学校における授業や生活で、以下のことがらについて、どの程度指導してほしいですか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、当てはまるものを1～3の中から一つずつ選んでください。



「重点を置いて指導してほしいと思う」割合が最も高いのは「自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする」で65.1%、次いで「相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える」61.4%、「『進学したい学校』・『就職したい職場』を選び、その実現のために努力すること」59.5%となっている。

次に、「重点を置いて指導してほしいと思う」と「ある程度指導してほしいと思う」を合計した割合をみると、最も高いのは「様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする」と「自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする」で98.8%である。次いで「相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えること」98.7%であった。